



す新たな仕組みであり、様々な人の協力を得ながら進めていく。



両小野学園の保・小・中合同の音楽会

◆子育てしたくなるまち日本一を目指して

問 人口増につなげる少子化対策はどのようなものがあるか。

答 「子育てしたくなるまち日本一」の実現に向けて、「にぎやか家庭応援事業」として四つの事業を行う。一つ目は、多子世帯における保育料の負担軽減を図る。3歳以上の児童を対象に第2子半額、第3子以降無料とする。これに、6千29万円余を予算措置した。幼稚園、認可外保育所もこの対象となる。二つ目は、保護者の育児リフレッシュと制度の周知を目的とした「デイ保育」初回分最大8時間無

料。三つ目は「えんぱー保育園」。各コーナーを回り親子でリフレッシュ、交流・体験の場を創出したもの。四つ目は教育評論家松居和先生の「子育て応援講演会」など。いずれの事業も来年度も継続して実施する。

市民派連合
 質問者 古畑 秀夫
 永田 公由・丸山 寿子
 持ち時間100分

住みよい塩尻市をめざして

◆農業・林業再生の成果は
問 農業再生・林業再生の取り組み状況は。

答 農業再生では、学校給食で市内農作物を積極的に取り入れ、旬の時期には野菜、果物とも約7割を地元の農産物で供給している。また、昨年、塩尻ワイン大学を開校したが、このうち6名はブドウ栽培を開始している。市内の耕作放棄地は6年前と比較して40%の減少となった。
林業再生では、計画的な森

林整備に向けた集約化や、公共施設にペレットボイラー・ストーブを導入し、地産地消の地域エネルギー供給体制の構築を推進している。

問 片丘の集約化の伐採はい

答 来年度から始めていき

問 松くい虫の発生状況と対策は。

答 市内10カ所で発生し、伐倒蒸処理している。

問 農業公社が管理している田畑は手が回らない状況で人手不足ではないか。

答 プロパーの採用を検討している。



ペレットストーブで地産地消

◆子育て支援の成果は

問 「子育てしたくなるまち日本一をめざして」の成果は

答 3歳以上の園児の保育料を第2子半額、第3子以降無料としており、県内トップク



キッズクラブで楽しい交流

ラスの軽減を図っている。また、教育支援訪問事業や、放課後キッズクラブの創設などきめ細かく取り組んでいる。

問 子どもの貧困率が上昇し、6人に1人が貧困との事だが経済支援や教育格差の解消に向けた対策は。

答 放課後の学習支援の取り組みはコミュニティ・スクールでも検討していく。経済支援は国の動向に注視していく。

◆来年度の重点施設は

問 来年度に予定している主要事業は何か。

答 大門地区センター建設、文化会館改修、新体育館及び北部地域拠点の建設にかかる基本設計などである。

◆TPPは農業の危機

問 農林水産物の81%が関税撤廃され、重要5品目だけでも30%が撤廃され、国会決議